

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

*印の教員は、平成29年3月31日付で定年退職予定または、平成28年度研究指導は行わない者。
 なお、平成28年3月31日付で定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

(所属専攻)		☎ 03-5978- (下記☎参照)
(所属コース)		
担当教員	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野
(職名) : (氏名)	(博士前期課程における主な授業科目名)	(研究テーマ、研究分野)
☎ 03-5978- (連絡先番号)		(連絡先メールアドレス)

平成27年5月1日現在

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures ☎ 03-5978- (下記☎参照)

日本語・日本文学コース Japanese Language and Literature

担当教員	授業科目	研究テーマまたは研究分野
Position : Name 教授 : 荻原 千鶴 Professor : OGIHARA Chizuru * ☎(5201)	日本上代文学特論	【日本上代文学】奈良時代までの作品の諸問題を研究。神話・歌謡・和歌など、古代文学諸ジャンルの生成と展開の様相に関心をもつ。 e-mail: iwasaki.ogihara.chizuru@ocha.ac.jp
教授 : 大塚 常樹 Professor : OTSUKA Tsuneki ☎(5204)	日本現代文学特論	【近現代詩及び文学理論】これまでの研究対象は、宮沢賢治を中心に、朔太郎、光晴、中也等の詩人と、梶井基次郎。私の目指す研究方法は、表現構造（メトリックやナラトロジー、トポス等）の分析と、文化的社会的時代背景による裏付けです（人文学的な作家論は扱いません）。指導学生には、テキスト論やナラトロジーの意欲的な学習と、様々な時代資料の綿密な調査を要求しています。 e-mail: otsuka.tsuneki@ocha.ac.jp
教授 : 浅田 徹 Professor : ASADA Toru ☎(5199)	日本中世文学特論	【日本中世文学】平安末期から近世初期までの和歌を中心に、社会の中にシステムとして組み込まれた文芸のありかた（『勅撰和歌集』『歌道家』『古今伝授』等）を考察する。その他諸ジャンルにおける秘伝の成立などに関心を持っている。 e-mail: asada.toru@ocha.ac.jp
准教授 : 松岡 智之 Associate Professor : MATSUOKA Tomoyuki ☎(5200)	日本中古文学特論	【日本中古文学】『源氏物語』をはじめとする物語文学を中心に、中古文学（平安時代の文学）を研究している。言葉相互の関係に着目した作品解説を主眼とし、社会・制度の歴史や仏教思想と文学作品との関係なども追究している。 e-mail: matsuoka.tomoyuki@ocha.ac.jp
准教授 : 谷口 幸代 Associate Professor : TANIGUCHI Sachiyo ☎(5206)	日本近代文学特論	【日本近代文学】近代の日本文学における日本の古美術の受容とその影響を研究している。特に川端康成の文学における古美術の受容とその変容過程に関心がある。 e-mail: taniguchi.sachiyo@ocha.ac.jp
助教 : 竹村 明日香 Assistant Professor : TAKEMURA Asuka ☎(5203)	日本語史演習	【日本語学】日本語学、特に音韻史。 e-mail: takemura.asuka@ocha.ac.jp

アジア言語文化学コース Asian Languages, Literature, and Cultures

教授 : 宮尾 正樹 Professor : MIYAO Masaki ☎(5216)	現代中国語圏文学特論	【中国現代文学】民国初年（清末も含む）から現代に至るまでの中国文学を、主として文学言語の変容という観点から検討する。また、女性、学校、革命等の様々な言説の文学における現れについても考える。 e-mail: miyao.masaki@ocha.ac.jp
教授 : 伊藤 美重子 Professor : ITO Mieko ☎(5219)	中国古典語学特論	【唐代俗文学研究】中国唐代の民間の文芸について、主に敦煌出土資料（敦煌文書）を用いて研究している。 e-mail: ito.mieko@ocha.ac.jp
教授 : 和田 英信 Professor : WADA Hidenobu ☎(5217)	東アジア比較言語文化論(古典)	【中国古典文学】中国の詩と詩論について、とくに文学理論の表現形式に着目したアプローチを模索している。 e-mail: wada.hidenobu@ocha.ac.jp
准教授 : 伊藤 さとみ Associate Professor : ITO Satomi ☎(5218)	中国言語表現論演習	【中国語学】現代中国語の文法を形式言語学の視点から研究している。主なテーマは、疑問詞の照応的用法、形容詞の意味論、選択疑問文の研究など。 e-mail: ito.satomi@ocha.ac.jp

英語圏・仏語圏言語文化学コース English and French Languages, Literature, and Cultures

教授 : 中村 俊直 Professor : NAKAMURA Toshinao * ☎(5239)	仏語言語文化論	【現代フランス文学】ヴァレリーを中心として19、20世紀の詩人（マラルメやアポリネール）や20世紀の小説家（ジッドやブルースト）を研究している。現代言語思想や、近代日本におけるフランス文学の受容にも関心がある。 e-mail: nakamura.toshinao@ocha.ac.jp
教授 : 松崎 毅 Professor : MATSUZAKI Takeshi ☎(5223)	英文学演習（歴史表象研究）	【17世紀イギリス文学】詩を中心とする17世紀のテキストを、政治的・宗教的・社会史的な文脈に即して分析するとともに、ジャンル・検閲・読者層等のテキストを取り巻く文化との関連において読み直す作業を行っている。 e-mail: matsuzaki.takeshi@ocha.ac.jp
教授 : 戸谷 陽子 Professor : TOTANI Yoko ☎(5225)	米文学演習（作品研究）	【現代アメリカ演劇・パフォーマンス研究】現代アメリカ演劇・舞台芸術を対象にパフォーマンス研究の視点から研究。芸術実践および表象のポリティクスと社会との関わりに興味をもち、公共の文化芸術政策や制度との関わりにおいて分析。 e-mail: totani.yoko@ocha.ac.jp
准教授 : 清水 徹郎 Associate Professor : SHIMIZU Tetsuro ☎(5231)	英語圏文学表象論	【イギリス初期近代演劇】16世紀・17世紀の詩と演劇文化が抱える諸問題を、社会史的・精神的・文学史的観点を取り入れつつ研究している。現時点では、とくに16世紀末の古典文学受容と異文化表象の問題解明に取り組んでいる。 e-mail: shimizu.tetsuro@ocha.ac.jp
准教授 : 野口 徹 Associate Professor : NOGUCHI Toru ☎(5228)	英語学特論（統語論）	【文法理論】生成文法理論に基づき、統語論、意味論、形態論の諸分野の特性及び各部門間の関係を明らかにする。より具体的には、照応の問題を中心とした研究テーマとしている。 e-mail: noguchi.toru@ocha.ac.jp
准教授 : ダイアン・ナガトモ Associate Professor : Diane Hawley Nagatomo ☎(5226)	英語教育方法論演習	【英語教育論】 Investigating issues surrounding identity, beliefs, and practices of second language teachers. e-mail: hawley.diane.edla@ocha.ac.jp
准教授 : 中西 公子 Associate Professor : NAKANISHI Kimiko ☎(5222)	英語学特論（意味論）	【意味論・語用論】人間が言語の意味を理解する仕組みを、「語の意味と文の意味の関係」と「文の意味と談話の関係」の考察を通して明確にする。諸言語の比較に基づき言語の普遍的特徴を探る一方で、個別言語の理解にも努める。 e-mail: nakanishi.kimiko@ocha.ac.jp
准教授 : 山腰 京子 Associate Professor : YAMAKOSHI Kyoko ☎(5224)	英語学特論（第一言語習得）	【第一言語習得】生成文法理論に基づき、主に子供の母語習得の仕組みを探る。主なテーマは疑問文、数量詞、受身と使役など。 e-mail: yamakoshi.kyoko@ocha.ac.jp
准教授 : 高桑 晴子 Associate Professor : TAKAKUWA Haruko ☎(5227)	英文学特論（批評研究）	【イギリス・アイルランド小説】極めて近代的な文学形態である小説というジャンルを文化的・社会的文脈において分析する。19世紀のイギリスおよびアイルランド小説を主にネイションとジェンダーという文脈で研究中。 e-mail: takakuwa.haruko@ocha.ac.jp

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures		
日本語教育コース Applied Japanese Linguistics		
担当教員 Position Name	授業科目	研究テーマまたは研究分野
教授 : 佐々木 泰子 Professor : SASAKI Yasuko ☎(5212)	比較言語教育学特論	【日本語教育】言語学及び言語教育の諸分野と心理学や社会学などの関連分野の研究成果に基づいた新たな言語教育、特に比較文化論を背景とした日本語教育の方法論に関する研究。 e-mail: sasaki.yasuko@ocha.ac.jp
教授 : 加賀美 常美代 Professor : KAGAMI Tomiyo ☎(5194)	多文化間心理学特論	【多文化間心理学】異文化間コミュニケーションで生じた葛藤を規定する諸要因を解明するとともに、言語教育及び心理教育的援助に関連する理論と方法論を探索する。 e-mail: kagami.tomiyo@ocha.ac.jp
教授 : 森山 新 Professor : MORIYAMA Shin ☎(5691)	認知言語学特論	【応用言語学】最近注目を浴びつつある認知言語学の知見などを取り入れながら、第二言語としての日本語習得のメカニズムを探り、あわせて教材開発や教授法など日本語教育への応用可能性について考える。 e-mail: moriyama.shin@ocha.ac.jp
准教授 : 西川 朋美 Associate Professor : NISHIKAWA Tomomi ☎(5334)	言語学習論特論	【第二言語習得】大人・子どもの第二言語習得のメカニズムの解明を目指すとともに、その研究成果の日本語教育への応用を考える。 e-mail: nishikawa.tomomi@ocha.ac.jp
助教 : 加納 なおみ Assistant Professor : KANO Naomi ☎(5213)	日本語教育学特論	【リテラシー教育、バイリンガル教育】 e-mail: kano.naomi@ocha.ac.jp
思想文化学コース Philosophy		
准教授 : 三浦 謙 Associate Professor : MIURA Ken ☎(5164)	科学哲学特論	【科学哲学】哲学における認識論と、科学における方法論や理論形成の過程をもとに、認識や知識の根拠付けや限界についての問題を研究している。 e-mail: miura.ken@ocha.ac.jp
准教授 : 中野 裕考 Associate Professor : NAKANO Hiroataka ☎(5165)	哲学特論	【西洋近代哲学】カントを中心に、17・18世紀の西洋哲学において、知覚、認識、自己等の主題に関して、現代哲学の源流を探っている。 e-mail: nakano.hiroataka@ocha.ac.jp
助教 : 宮下 聡子 Assistant Professor : MIYASHITA Satoko ☎(5796)	倫理思想史特論	【倫理学】倫理と心理と宗教の接点を探るというテーマのもと、人間のあり方について人間の内面と超越的次元との関わりにおいて考察している。主として、ユング、フランクフル、フロム、キューブラー＝ロスといった精神科医、心理学者の思想を研究対象としているが、上記のテーマに関わる思想であれば、洋の東西を問わず、研究対象となり得る。 e-mail: miyashita.satoko@ocha.ac.jp
歴史文化学コース History and Art History		
教授 : 三浦 徹 Professor : MIURA Toru ☎(5184)	アジア社会文化特論	【アラブ・イスラム史】アラブ・イスラム都市の形態的・社会的特徴について、歴史資料と現地調査を併用し、比較史の観点から検討する。主たる対象は、中世のエジプトとシリア。 e-mail: miura.toru@ocha.ac.jp
教授 : 古瀬 奈津子 Professor : FURUSE Natsuko ☎(5183)	日本社会史特論	【日本古代史】奈良・平安時代において、天皇を頂点とする政治システムが、中国の影響を受けてどのように成立し、変容していくかを、太政官・藏人所などの政治機構や天皇を中心とした儀式などの解明を通じて考察する。 e-mail: furuse.natsuko@ocha.ac.jp
教授 : 小風 秀雅 Professor : KOKAZE Hidemasa * ☎(5179)	日本政治経済史特論	【日本近代史】政治史、経済史、文化史の分野を中心に、日本の近代化の特徴を、欧米及び東アジアとの比較によって、明らかにするところに主たる関心がある。 e-mail: kokaze.hidemasa@ocha.ac.jp
教授 : 岸本 美緒 Professor : KISHIMOTO Mio ☎(5176)	比較アジア政治文化論	【中国近代史】明清社会経済史が主要な研究対象。世界史的な視野のもとで、中国明清時代の社会経済の変化を比較史的にとらえることに関心がある。 e-mail: kishimoto.mio@ocha.ac.jp
教授 : 新井 由紀夫 Professor : ARAI Yukio ☎(5177)	西洋中世史特論	【イギリス中世史】14・15世紀の政治社会の在り方。とりわけ土地保有階層であるジェントリの社会的結合関係や、メンタリティー、中世ヨーロッパ古書体学などに関心がある。 e-mail: arai.yukio@ocha.ac.jp
教授 : 天野 知香 Professor : AMANO Chika ☎(5170)	西洋美術史理論特論 (現代)	【西洋美術史】特に十九世紀後半から二十世紀前半にかけてのフランス美術と装飾芸術を中心に、社会における芸術の概念の位相とその変化をとらえながら、作品を取り巻く制度や批評的言説を考察し、個々の作品を分析する。フェミニズム美術史、視覚表象分析理論。 e-mail: amano.chika@ocha.ac.jp
教授 : 安成 英樹 Professor : YASUNARI Hideki ☎(5181)	西洋近世史特論	【フランス近世史】絶対王政期のフランス社会をフィールドとして、前近代ヨーロッパの政治的、社会的、国際的な特質を広く考究する。 e-mail: yasunari.hideki@ocha.ac.jp
教授 : 神田 由築 Professor : KANDA Yutsuki ☎(5182)	日本文化史特論	【日本近代史】近世の都市や地域社会の構造を、芸能興行など文化的活動の場という視点から捉え直そうとしている。特に、都市や市場に集まる芸能民や商人、遊女、侠客などの集団に関心がある。 e-mail: kanda.yutsuki@ocha.ac.jp
助教 : 土谷 真紀 Assistant Professor : TSUCHIYA Maki ☎(5169)	日本美術史特論	【日本美術史】日本中世における絵画を中心に、作品の生成と享受の問題について物語、宗教といった視点から考察を行う。 e-mail: tsuchiya.maki@ocha.ac.jp
生活文化学コース Cultural and Historical Studies		
教授 : 宮内 貴久 Professor : MIYAUCHI Takahisa ☎(5797)	民俗文化論特論	【日本民俗学、文化人類学】日本の民俗文化、主として建築文化と住生活について関心がある。特に日本における風水の受容について取り組んでいる。また、口頭伝承だけでなく、書籍、出版、読書生活、リテラシーを通して生活文化の中における文字文化の位相についても研究を進めている。 e-mail: miyauchi.takahisa@ocha.ac.jp
准教授 : 鈴木 禎宏 Associate Professor : SUZUKI Sadahiro ☎(5798)	比較文化特論、生活造形特論	【比較文化論】「比較文化論」という方法論を構築する一方で、それをういた文化的事象の解明を目指す。 e-mail: suzuki.sadahiro@ocha.ac.jp
助教 : 難波 知子 Assistant Professor : NANBA Tomoko ☎(5800)	日本服飾文化論	【日本服飾史】日本服飾史、学校制服史 e-mail: nanba.tomoko@ocha.ac.jp
助教 : 新實 五穂 Assistant Professor : NIIMI Iho ☎(5802)	西洋服飾文化論	【西洋服飾史】19世紀フランスを中心に、ひとが服を身に着ける意味および服装における社会表象に関して分析し、人間の営みや時代の心性を明らかにすることを旨とする。 e-mail: niimi.iho@ocha.ac.jp

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures

舞踊・表現行動学コース Dance

担 当 教 員 Position Name	授 業 科 目	研 究 テ ー マ また は 研 究 分 野
教授 : 猪崎 弥生 Professor : IZAKI Yayoi ☎(5263)	舞踊芸術学特論	【舞踊芸術学】舞踊作品及び動きの映像分析や言語を用いた評定尺度によるイメージ分析などを通して舞踊における多様な表現方法を考察する。また舞踊の身体性に関しても実践的に研究を行う。 e-mail: izaki.yayoi@ocha.ac.jp
教授 : 新名 謙二 Professor : NINA Kenji ☎(5268)	スポーツマネジメント特論	【比較スポーツマネジメント論】スポーツ施設やスポーツ団体におけるマネジメント課題について、地域的比較あるいは時間的比較という視点からの分析を行う。 e-mail: nina.kenji@ocha.ac.jp
准教授 : 中村 美奈子 Associate Professor : NAKAMURA Minako ☎(5269)	民族舞踊学特論	【民族舞踊学】インドネシア（バリ島）の舞踊を中心に、日本を含むアジア地域の民族舞踊の調査・研究を主な領域としている。理論と実践の両面からのアプローチを行い、舞踊記譜法などの分析手法を用いた舞踊の比較分析に関心を持っている。 e-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp
准教授 : 水村 真由美 Associate Professor : MIZUMURA Mayumi ☎(5264)	表現行動科学実験演習	【身体運動科学】舞踊を含む身体運動全般を、生理学およびバイオメカニクス的手法により調査している。トレーニングや練習といったくり返しの運動によって、身体諸機能や動作が変容する可能性に関心をもっている。 e-mail: mizumura.mayumi@ocha.ac.jp
助教 : 福本 まあや Assistant Professor : FUKUMOTO Maaya ☎(5265)	舞踊表現学特論	【舞踊表現論】舞踊の教育的意義、社会的意義に関する既存の研究に整理・再検討を加え、そこから新たな研究課題と研究方法を創出し、人間と舞踊の関わりを複眼的に考察する。 e-mail: fukumoto.maaya@ocha.ac.jp
音楽表現学コース Music		
教授 : 永原 恵三 Professor : NAGAHARA Keizo ☎(5275)	音楽学特論	【音楽学】音楽を人間の豊かな営みと捉え、音楽の美的および社会的存在の多様な様相に関して、パフォーマンスの行われる場を中心にして研究するとともに、現代の音楽文化が提示している諸問題を検討する。 e-mail: nagahara.keizo@ocha.ac.jp
准教授 : 小坂 圭太 Associate Professor : KOSAKA Keita ☎(5278)	ピアノ演奏学特論（近代）	【ピアノ演奏】ピアノという西欧近代特有の思考を体現するような楽器の演奏を通じ、「古典」の概念の検証を行うと同時に、ほとんど西欧化と同義語になっている今日の文化の「グローバル化」について考察する。 e-mail: kosaka.Keita@ocha.ac.jp
助教 : 井上 登喜子 Assistant Professor : INOUE Tokiko ☎(5281)	音楽文化史研究	【音楽学】音楽が社会の中でどのように伝播・普及し、それがどのような意味を持つのかという音楽受容の問題に関して、近代ドイツと日本、そして今日のグローバル社会における西洋音楽受容を中心に、歴史的、実証的に考察する。 e-mail: inoue.tokiko@ocha.ac.jp